

セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸 2016 (金沢) 一般講座

<http://www.security-camp.org/minicamp/hokuriku2016.html>

情報セキュリティセミナー

12月3日(土) 13:00~

会場：金沢大学サテライト・プラザ3F集会室

開場：12:30(受付開始)

定員：100名(事前申込制) どなたでもご参加できます。

申込：メール本文にタイトルと必要項目を記載し、申込窓口までメールを送信ください。

申込窓口：hokuriku-ippan@security-camp.org 締切：11月30日(水) 17時

タイトル：セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸 2016 (金沢) 一般講座参加申込

必要事項：氏名(ふりがな)、会社名(学校名)、部署名(学科・学年)、E-mail アドレス(確実に連絡がつくアドレス)

※申込された方には、窓口より「【受付完了】セキュリティ・ジュニアキャンプ in 北陸(金沢) 2016」というタイトルの確認メールが届きます

開会挨拶 13:00~13:10 北陸先端科学技術大学院大学 教授 丹 康雄

講演1 13:10~14:10 『IoTにおける脅威と対策 ~「IoT開発におけるセキュリティ設計の手引き」を題材に~』

講師：辻 宏郷(つじ ひろさと)氏 情報処理推進機構技術本部セキュリティセンター研究員

概要：家電、自動車、玩具、産業機器など多種多様な「モノ」がネットワークを介してつながるIoTが注目を集めていますが、つながることで発生する脅威に対するセキュリティ対策の不十分さや責任分界の曖昧さなど、様々な課題があります。IPAは「IoT開発におけるセキュリティ設計の手引き」を作成・公開し、IoTにおける脅威を分析し、対策を検討する例を示しました。この手引きを題材として、IoTのセキュリティ、脅威と対策等について解説します。

講演2 14:20~15:20 『サイバー攻撃の現状とCSIRTの重要性』

講師：高江 茂(たかえ しげる)氏

NECソリューションイノベーター株式会社 北信越支社 北陸支社 上級プロフェッショナル

概要：様々な機器がインターネットに接続され、また、様々なサービスがインターネットで提供されるようになり、インターネットは必要不可欠のものとなっています。一方で、インターネットからの多岐にわたるサイバー攻撃は年々激しさを増し高度化している状況となっています。このサイバー攻撃の現状と、攻撃が行われた際に対応する組織としてCSIRTの重要性、対応人材の育成について解説します。

講演3 15:30~16:30 『サイバーレンジ自動生成による効果的な人材育成』

講師：Razvan BEURAN(らずばん べうらん)氏 北陸先端科学技術大学院大学 特任准教授

概要：近年、セキュリティ人材育成のプログラムが増えています。しかし、演習環境構築は通常手作業で行われるため、規模の制約、時間やコスト、間違いなどの問題があります。これに対し、我々はサイバーレンジの自動生成ができる演習フレームワークの開発を行っています。この技術を用いた効果的な人材育成と今後の展望についてご紹介します。

講演4 16:30~17:00 『ライトニングトーク』 石川県警察本部、セキュリティ・キャンプ卒業生等

お問合せ：金沢工業大学 連携推進課「セキュリティ・ミニキャンプ in 北陸 2016 (金沢)」担当

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 TEL：076-294-6740 FAX：076-294-6706 E-mail:isp@kanazawa-it.ac.jp

主催：金沢大学大学院電子情報科学専攻、金沢工業大学、北陸先端科学技術大学院大学、セキュリティ・キャンプ実施協議会、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
共催：経済産業省中部経済産業局

後援：北陸総合通信局、石川県、石川県警察本部、金沢市、北陸経済連合会、北國新聞社